

1996年 (平成8年)

日本経済は夏場に足踏み状態に陥ったものの、秋口以降は設備投資の堅調や、消費税引き上げ前の駆け込み需要もあって、再び回復基調を取り戻した。ゴム工業にあっては、自動車タイヤが市販用と輸出用出荷の好調から、過去最高の生産実績を記録した。

本会の主要業務活動等

- 3月 クリーンジャパンセンターの委託を受け、本会、日本自動車タイヤ協会および再生ゴム工業会の3団体共同で「ゴムマテリアルリサイクル製品」に関するパンフレットを作成、発行
- 4月 ガス管部会で、都市ガス用ゴム管の自主検査基準を改正～従来の青ゴム管を廃止して、新ガスソフトコードに一本化
- 5月 労務専門委員（7名）による海外研修（欧州、特にドイツを中心にした労働事情の視察）を実施
- 6月 安全衛生専門委員会で、「はさまれ災害防止マニュアル&災害事例」を発行
- 7月 環境専門委員会で、廃棄物処理と関連し、「焼却炉等に関するアンケート調査結果レポート」を発行
- 8月 通産省の容器包装リサイクル法関係の実態調査に協力
 - 〃 中国から中聯橡膠総会社のゴム視察団（17名）が来日し懇談
- 9月 環境専門委員会の組織見直しを検討し、この一環として環境問題に関するアンケート調査を実施
- 11月 経団連の要請に応じ、「日本ゴム工業会環境保全に関する自主的行動計画」を策定、提出

ゴム産業関連事項

- 4月 補修市場向けタイヤ全商品に対しオープン価格制が実施（本制度の導入によりメーカー希望小売価格は廃止）
 - 〃 ISO/TC41（ベルト・プーリー）の国際会議が日本（奈良）で開催
 - ☆ 自動車タイヤ生産がゴム量で1,076千トンの史上最高を記録

政治・経済・社会情勢

- 1月 橋本龍太郎内閣発足
- 2月 政府、事実上の景気回復宣言
- 3月 公示地価5年連続で下落
 - 〃 特定石油製品輸入暫定措置法（特石法）が廃止～輸入が自由化
 - 〃 アジア10カ国と欧州15カ国・欧州委員会の首脳・代表による初のアジア欧州首脳会議（ASEM）がバンコクで開幕
 - 〃 台湾初の総統直接選挙が行われ、国民党主席の李登輝氏が当選
- 6月 政府は閣議で、消費税率を97年4月1日から5%に引き上げることを決定
- 7月 アトランタオリンピック開幕（7/19～8/4）
 - 〃 堺市でO157食中毒発生
- 10月 第41回総選挙～小選挙区・比例代表並列制による
- 11月 第2次橋本内閣成立
- 12月 ベルー日本大使公邸で左翼ゲリラによる人質事件発生
 - 〃 本年最後の東京外為市場は1ドル＝116円18銭とこの年の最安値を更新

参考データ	公定歩合の動き	GDP (名目/暦年)	四輪車生産台数	新ゴム消費量
	499兆8,610億円 実質成長率：3.9%	10,347千台 前年比：1.5%	1,421千トン 前年比：3.5%